

第 112 回京都 C S R 研究会開催のご案内

京都 C S R 研究会ご賛同の皆様へ

2013 年 11 月 8 日

事務局

前略 いよいよ秋も深まり、快適な季節になってまいりました。さて、前回は学生さんによる企業とのグローバル人材プログラムについてのフォーラムで、活発な議論がおこなわれましたが、今月からは、また本研究会が主題とする「私の考える C S R 経営」ラインに戻ります。

昨今、日本の大企業の C S R が、どちらかと言うと保守的な後ろ向きの概念もしくは表層的な P R 手段として受け止められつつあるとの危惧が出てきています。そこで、今回はこれまで地味ではあるが「C S R」を経営の指針に取り込もうとしてきた日本の中堅中小企業にスポットライトを当て、C S R 経営を本業に取り込むとはどういうことなのか、どのような仕方があるのかについて学ぶ会と致します。

先駆けとして、今月は京都の代表的な金属部品メーカーであり、戦後創設以来、一貫して果敢に「ものづくり」の真髄を追求してきた(株)阪口製作所の阪口雄次社長にお越しいただき、金属部品業界が現在検討中の「C S R ガイドライン」もご紹介いただきながら、社会性と言うあらたな要素を、どのように経営の中に取り込めるかについて皆様との活発な意見交換ができればと思います。これまでご多忙で足が遠のいておられる O B の皆様は勿論のこと、あるいはご関心がある周囲の方々に鋭意お呼びかけ頂いて、有意義な研究会と致したくよろしくご参加のほどお願い申し上げます。

草々

記

1. 日時：2013 年 11 月 29 日（金） 18 時半～
2. 場所：京都キャンパスプラザ 2 階第 2 会議室
3. テーマならびにスピーカー：
テーマ：「私の考える中堅企業の C S R とガイドラインの必要性について」
スピーカー：(株)阪口製作所 社長 阪口雄次様(別添 H P 抜粋ご参照)

4. その他

なお、例によってブラウンランチ方式（飲食物持ち込み）としますので、気さくにお集まりください。なお、受付にてワンコイン(500 円)をご頂戴いたしております。予めご容赦ください。

以上



代表取締役社長

阪口雄次

当社は 1946 年の創業以来、常に「人のいやがる仕事、面倒で難しい仕事」を率先して手がけることをモットーに、金属プレス加工の技術を高めてきました。そして今では創業者の意思を受け継ぎながら、「脱・町工場」という目標を実現。3K(きつい、汚い、危険)といわれてきたプレス屋さんのイメージから脱却を図り、技術力・社内体制ともに充実した「次世代の SAKAGUCHI」を創りあげています。

例えば、数多い女性パート社員のために扱いやすく安全な開発機械を導入したり、社内のメンタルヘルスを推進するため、カウンセリングを取り入れるといった新しい試みも、SAKAGUCHI では今や当たり前のこと。工場の設備改善と従業員の労務改善を進め、「安全で快適な職場環境」をつくることで管理技術に磨きをかけたことにより、社内では優秀な人材が育ち、企業の発展にもつながっています。また技術面では、同じ部品を大量に生産することがプレス加工の役目だと考え、複雑異形状の製品を大量生産できる最新鋭の設備を導入。60年以上の経験とノウハウをバックボーンに、最新テクノロジーを駆使したローコストオートメーションを実現しています。

お客様、企業、社員がみな笑顔でいられるように、また業界の活性化や豊かな社会の創造に貢献できるように。SAKAGUCHI は新しい未来のステージへ向かって、今後もさらなる技術革新にチャレンジしてまいります。